

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1289
施設名	上井草保育園
施設所在地	杉並区上井草3-25-19
法人名	社会福祉法人国立保育会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光 「お日様が当たるとどうなるかな」「ひかりってなんだろう」

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

- ・日当たりのよい当園の特徴を活かして日よけを設置して、光の違い（日向と日陰など）に気が付くようにした。
- ・保育室の窓にカラーセロファンでスタンドグラスを設置し、光のきれいさや不思議さに興味を持ってほしいことやどのように子どもたちが光を感じる姿が見られるのか

2. 活動スケジュール

令和7年5月から令和8年1月まで

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・ 園庭には日よけを設置
- ・ 室内にはカラーセロファンで作成したステンドグラス、大型積み木

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ 日当たりのよい園庭に熱中症予防のために張っている日よけだが、子どもたちは、日よけの下の気温の変化、下にある水たまりの温度の変化に気が付いて、不思議がる姿が見られた。
- ・ 1歳児保育室内の窓にカラーセロファンを貼ったことで、室内の床に色々な色が映し出された。子どもたちがそれぞれ感じたことを言葉にしたり、友だちと発見したことを共有したりする姿があった。また、窓に貼ったことで「触りたい」と感じた子たちが、大型積み木を持って踏み台にして触ろうとしていた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・ 裸足になって水たまりに入ると、子どもたちは大きな歓声を上げていましたが、歩いていく中で「あれ、ここあったかい」と気が付いたお友だち。すぐにみんなに知らせ、みんな集まってきました。「本当だ!」「あったかい」「どこがあったかい?」「ここもだよ」とあったかいところ探しに夢中になりました。そのうちに、「なぜあったかいんだろう?」と不思議に思ったお友だちが太陽の光によるものと気が付く。保育士も一緒に裸足になり、温度の違いを感じ不思議さに共感していった。
- ・ 窓に貼ってあるものを見て「きれいだよ」と気が付いたことを保育者に知らせてきてくれたり、お友だちと喜び合ったりする姿があった。また、床に光が映し出されている場所を発見して、触ってみたりする姿もあった。保育者も共感していき、子どもたちの発見がさらに広がるように声をかけていった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・カラーセロファンを窓に貼って、しばらくは窓を眺めて、「きれいだね」と話している子が多かったが、次第に触ってみたいと思うようになり、自分たちで触れるように積み木を移動して足場を作る姿を見て、触れるように移動することは簡単だが、子どもたちの様子を見て、子どもたち自身が「どうしたらいいかな？」と考えていけるように、見守っていくことが大事だと感じた。良かれと思って先回りしすぎて手を出しすぎないようにしていき、待つことの大切さに改めて気が付きました。
- ・子どもたちが自ら何故だろうと気が付いて、じっくり考えていくことが出来る環境設定をこれからも大切にしていきたいと思いました。